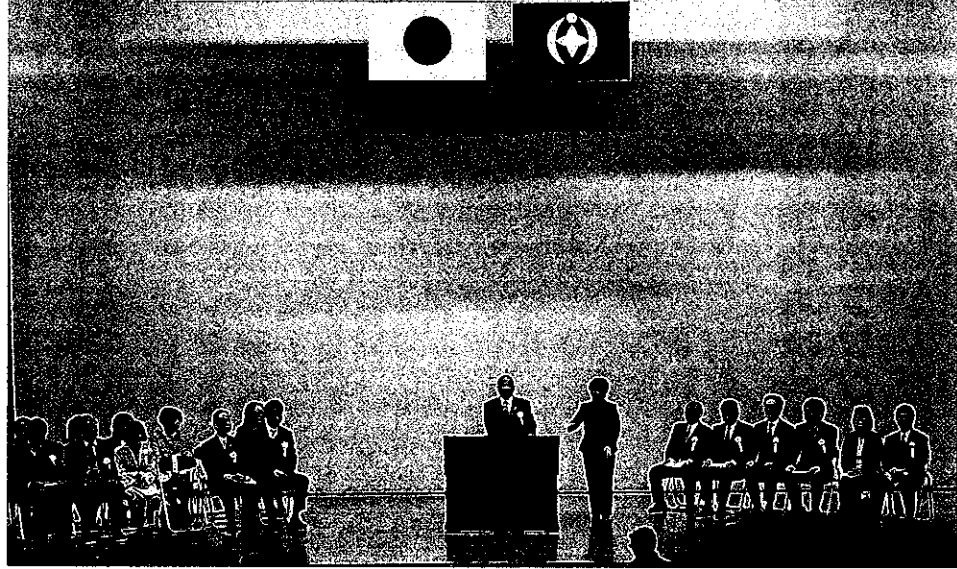


第16回 千葉市障害者福祉大会



第十六回「千葉市障害者福祉大会」

第241号



千葉市身障者福祉会
発行 広報委員会
責任者 飛嶋 信行

～転居のお知らせ～

氏名	住 所	電話番号
江尻 義博		
江尻美智子		

福祉会は発足66周年を迎えました。更に発展するように、会員募集中です。知り合いの方や、お近くで身体障害者手帳をお持ちの方を地区役員に紹介ください。(組織委員会)

リオパラリンピックへの挑戦を応援しよう

国際車椅子スポーツ大会が千葉市で開催されます。競技は「車椅子バスケットボール」と「ウィルチェアラグビー」です。「車椅子バスケットボール」はある程度の想像が付きませんが、「ウィルチェアラグビー」という競技は広報委員長は知りませんでした。少し調べてみたのですが、バスケットボールコートと同じ広さの中で一チームが四人、四対四で競う競技で、相手チームの陣地のポイントとなる競技らしいです。ルールは①十秒に一回ドリブルをしなければならぬ②普通のラグビーと違い、前方にパスが出来る。大きくこの二つのようです。ただし競技名に「ラグビー」と言う名前がついていて、「車椅子同士の接触が許されている」というので、動画を拝見しましたが、普通のラグビーさながらの「タックル」が何度となくされ時には車椅子が転倒してしまいうほどの勢いでぶつかりあっている場面もあり見ているだけでも、熱くなる競技だと思えます。今回千葉市で開催される大会は「車椅子バスケットボール」「ウィルチェアラグビー」共にリオパラリンピックの出場を競い合う重要な大会です。興味のある方、そうではない方も是非時間を取って応援してあげましょう。競技を見ると、選手からパワーを分けて貰えると思います。

入場は無料です!

(広報委員長)

・会場…千葉ポートアリーナ
・日時…十月十日(土)～
十月十七日(土)・
十月二十九日(木)・
十一月一日(日)・
ウィルチェアラグビー

第十七回 「千葉市障害者福祉大会」

毎年開催の「千葉市障害者福祉大会」は十二月五日(土)九時四十分～十二時二十分まで千葉市ハーモニープラザ多目的ホールにて開催されます。市政功労者、地域社会貢献者、心の輪を広げる作文、障害者週間のポスター最優秀賞者、「第十回全国障害者スポーツ大会・紀の国わかやま大会」出場選手の紹介を初めとして、実践体験、また演奏・演技の発表を予定しています。今回の講演はお天気キヤスター、気象予報士として活躍されている森田正光さんを講師に迎えて「テレビで言えない天

気の話」を頂くことになっています。その他、多くのイベントの開催が予定されていますので、多数の参加をお待ちしています。申込は各地区役員を通じてお申込下さい。障害者同士が交流を深める場として、今年も多くの会員・ご家族の皆様にご参加頂きますよう案内致します。駐車場に限りがありますが、公共交通機関(京成千葉寺駅または路線バス等)を利用するか、自動車での乗り合わせ上、青葉の森駐車場をご利用下さい。(広報委員会)

今年も臨時福祉給付金を支給します

昨年四月の消費税の引き上げによる所得の低い方への負担を軽減するため、臨時福祉給付金を昨年到现在も支給します。対象…平成二十七年一月一日時点で千葉市住民税が課税されていない方。ただし、課税されている方に扶養されている方や、生活保護を受給している世帯の方などは除きます。

・申請期間…九月十五日(火)～十二月十六日(水)

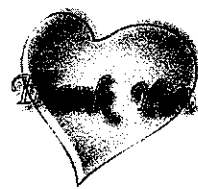
・支給金額…一人当たり六千円。支給対象になる可能性が高いと判断した世帯に、九月中旬ごろに市臨時福祉給付金事務局から申請書を郵送されますので、必要事項を記入し、必要書類を添付して、同封の返信用封筒により郵送で申請してください。区役所に設置する受付窓口への直接持参も可。審査の上、指定の口座に振り込みます。なお、申請から支給までは四～七週間程度かかります。詳しい内容のお問い合わせ先は以下の通りです。

・千葉市臨時福祉給付金コールセンター
Tel:244-5566
昨年申請を忘れた方、今年も忘れない様にお願ひします。(昨年度の申請は出来ません)
(広報委員会)

「555」賞金

- 鳥井 章様(花見川区)
- 小倉 春夫様(稲毛区)
- 砂原 時男様(緑区)
- 醍醐 正子様(美浜区)
- 小森 光代様(美浜区)

毎回の協力に感謝しお礼を申し上げます。有難うございました。(財務委員会)小倉



計報 一件

久我 英子様
平成二十六年十二月(七十九歳)
ご冥福を心よりお祈り申し上げます。
(組織委員会)鳥井

第二十一回 千葉市「障害者作品展」

障害をもつ人達が精魂こめた作品を発表する「作品展」は、千葉市文化

センター五階 市民サロンで展示されます。十月六日(火)作品搬入・飾り

作品展の目的

「障害者が自らの障害を乗り越え、完成した作品を公開展示することにより、広く社会に日々の精進を理解していただき、障害者には自己表現の場をおし、自身と希望を与え、るとともに、自立と社会参加の促進に資すること」